

流産手術を受けられる方へ

フリガナ

患者ID: _____ 氏名: _____ 病棟: _____
 主治医: _____ 担当医: _____ 受持看護師: _____

	入院日(手術前日)	(手術前)	手術当日	(手術後)	手術後1日目(退院)
目標	手術の受け入れができています。 手術前の検査が済んでいる。 体温・血圧・脈拍が安定している。	体温・血圧・脈拍が安定している。 吐き気がない。 腸の動きが良く、ガスが出る。 痛み止めを使って、痛みをやわらげます。			出血が少ない。 痛み止めを使って、痛みをやわらげます。 病棟内歩行ができる。 退院後の生活の注意点などがわかる。
説明	看護師がお話をうかがい、入院生活と手術前後の経過や処置について説明をします。 医師より手術の予定、目的などについて説明があります。 麻酔科医がお伺いして、麻酔や手術前の食事や水分をいつまで摂ってよいかなどの説明をします。 同意書もお渡ししますので、署名をし、ナース・ステーションに提出して下さい。	手術に出る時間までに、ご家族の方に来てもらってください。	医師より手術の結果について説明があります。		看護師より退院後の生活について説明があります。 医師より退院後の外来受診などについて説明があります。 医師の記入が必要な書類などありましたら、平日日中に1階玄関ホールにある診断書受付までお出しください。
検温	適時 	6時、手術室へ行く前		帰室時、3時間後、19時	2回
排泄				手術中に尿道留置カテーテルを尿道に入れます。 午前の手術の方:18時頃に尿道留置カテーテルを抜きます。その後病棟内トイレまで歩けます。	午後の手術の方:医師の診察後に尿道留置カテーテルを抜きます。その後病棟内トイレまで歩けます。
処置	午前の手術の方:手術前日の夕食後、浣腸があります。 19時30分ごろ、子宮の口を開く処置があります。	午前の手術の方は手術室で点滴を始めます。 午後の手術の方:手術当日の6時ごろ、浣腸があります。 8時30分頃、子宮の口を開く処置があります。 午後の手術の方は朝より点滴があります。	手術室より酸素を付けて帰って来ます。 手術室から帰室して3時間後に酸素の投与を中止します。 点滴は医師の指示があるまで続けて実施します。		採血があります。  医師の診察があります。 点滴は医師の診察後まで続けて実施します。 
準備	必要物品を買って来て下さい (T字帯1枚・ナプキン)。 T字帯1枚、ナプキン1枚を看護師がお預かりします。 身の回りの荷物は一つにまとめておき、床頭台上にナプキン1袋、パンツ1枚、体温計、ティッシュ等をセットしておいてください。	朝起きたら病衣に着替えておいてください。 下着はパンツのみにしてください。			
投薬	子宮の口を開く処置の後、抗生剤の内服があります。 内服されている薬は続けて内服してください。 手術のため内服薬はお預かりします。 眠れない時は眠剤の内服が出来ますのでお申し出下さい。	麻酔科医の指示で手術前に安定剤の内服がある場合があります。	午前の手術の方:手術当日の夕食後から子宮の収縮をよくする薬の内服を始めます。		午後の手術の方:手術後1日目の朝食後から子宮の収縮をよくする薬の内服を始めます。
安静	制限ありません。		ベッド上安静。 帰室3時間後から電動ベッド使用し、座ることができます。		制限はありません。
食事	制限ありません。	食事は食べられません。 水分摂取は麻酔科医の指示に従って下さい。	帰室後3時間から水分開始になります。 午前の手術の方:手術当日の夕から普通食が開始になります。		午後の手術の方:手術後1日目の朝から普通食が開始になります。
清潔	入浴可能です。				シャワー浴開始です。

2021年07月 第4版

(状態により多少前後することがあります)

高知大学医学部附属病院

産科婦人科

印刷日:
印刷者: